



公益社団法人 茨城県診療放射線技師会

INFORMATION

〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館5階 発行責任者：圓谷 明男 編集：奥山 寿恵
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

《 理 事 会 報 告 》

令和4年度 第1回 理事会議事録

開催日時：令和4年4月20日（水）
18:00～19:30

場 所：対面（茨城県診療放射線会事務所）・ZOOMによるハイブリッド形式

出 席：宮本 勝美，圓谷 明男，村木 一夫，
瀬谷 善恭，石森 佳幸，奥村 英一郎，
小澤 篤史，鈴木 達也，鈴木 昭義，
菌部 純一，沼尻 俊夫，根本 宏之，
野澤 哲也，長谷川 光昭，水木 一弘，
山下 ひろみ，山田 公治

欠 席：川又 誠，福谷 悌和，館野 誠，
守田 美和子（監事），横田 浩（監事）

議 長：圓谷 明男（会長不在のため）

書 記：圓谷 明男

【定数確認】

事務局より、理事17名の出席が確認され、定款により本理事会が成立するとの報告があった。今会議の議長並びに議事録作成人は圓谷副会長、議事録署名人は宮本副会長・村木常務理事・野澤理事とする。

【報告】

【1】会長報告

会長不在により後日メールにて報告する。

【2】役員報告（茨城県診療放射線技師会役員選挙、学術大会等）

茨城県診療放射線技師会役員選挙：定員20名、立候補20名だった。

第40回茨城県診療放射線技師学術大会報告（3月6日【日】）

鈴木昭義理事：事前登録：会員214名，メーカー2名，非会員1名，学生22名，参加者：会員162名，学生17名，非会員2名，その他1名

8時から15時30まで過密なスケジュールだったが、トラブルもなくスムーズな運営ができた。来年度においても、Webでの開催は今回の経験で可能であるが、ハイブリッド開催に関しては現実的には厳しい。

山田理事：学術発表会は、実行員の協力によりトラブルもなく盛況に終えることができた。実行員の方々

に感謝する。発表内容を理解するにはWeb発表は良かったので、来年開催まで1年あるのでハイブリッド開催の可能性も模索しても良いと思う。今後茨城県立医療大学と相談し検討を進める。

園部理事：事後配信であれば可能であるので今後検討する。

【3】その他

特になし

【議事】

【1】令和3年度事業報告・収支報告について

野澤理事：4月12日令和3年度会計監査を行った。指摘事項は無かった。令和3年度事業報告に関しては、沼尻理事にまとめて頂き、総会資料として校正の段階となっている。

全員一致で了承

【2】令和4年度定時総会について

圓谷副会長：5月27日 19時開始 茨城県総合福祉会館4F大研修室で行う。理事は18時まで集合とする。

沼尻理事より総会資料、総会議事次第、定款の変更などについて確認があった。

全員一致で了承

【3】令和4年度技師会スケジュールについて

2022年5月22日（日）フレッシューズセミナー 茨城県立医療大学

2022年6月24日（金）拡大会長会議（会長，副会長，教育委員）

2022年6月25日（土）～26日（日）関東甲信越診療放射線技師学術大会 Gメッセ群馬

2022年7月16日（土）：県央地区 茨城県青少年会館 JART 75周年記念式典

2022年7月17日（日）：県央地区 茨城県青少年会館 全国会長会議

2022年8月21日（日）：県北地区（株）日立製作所 日立総合病院又は市営の講堂

2022年2月11日（土）：県南地区 茨城県立医療大学

2022年2月12日（日）：県南地区 茨城県立医療大学 理事会は6回行う。4月（今回）、5月総会后、7月、11月、1月、3月

石森理事：フレッシューズセミナーは、5月22日（日）12時55分～18時30分で茨城県立医療大学112講義室

にて、基本的に対面（飲食を伴わない）で案内を出している。今日現在、12名の申し込みがあった。

鈴木達也理事：告示研修の募集はいつから始まるのか。

石森理事：責任者、医師、看護師などのスタッフが決まらず申し込みが出来ていない。

小澤理事：8月21日（日）で行うが、申し込みは誰が行うのか。

圓谷副会長：申し込みに関しては、教育委員が行う。医師に関しては、JART が手配する事となっている。看護師に関しては、茨城県看護協会に相談する。

【4】組織運営規定改訂（顧問設置）について

圓谷副会長：会が若返る事は非常に良い事ですが、それと同時に技師会運営には、専門的な知識や経験をもって補佐やアドバイスが出来る身近な人材が必要であり、茨城県診療放射線技師会には今後必要な役職である。その役職に相当する顧問設置をお願いしたい。

設置するにあたり組織運営規定を改定し理事会の承認を得たい。

組織運営規定改訂（案）

〔顧問〕

第6条 本会に任意の機関として、若干名の顧問を置くことが出来る。

- 2 顧問は次の職務を行う。
会長の相談に応じること
理事会から諮問された事項について参考意見を述べること
- 3 顧問の選任は、理事会において決議し、会長が委嘱する。顧問の解任は、理事会において決議し、会長が解任する。
- 4 顧問の報酬は、無償とする。
- 5 顧問の任期は、委嘱した会長の在任期間とする。ただし、再任は妨げない。

顧問設置、組織運営規定の改定につて全員一致で承認

【5】第69回関東支部研究発表大会（技師会セッション）について

長谷川理事：日本放射線技術学会第69回関東支部研究発表大会（つくば国際会議場：12月3日～4日）が行われる。県技師会との共催の大会となり、根本大会長から技師会も1セッション何か担当して頂きたいとの要請があった。被ばく等のセッションも候補として考えたが、今年度始まる JART の新しい教育システム（ラダー）について説明をする場としたい。

全員一致で承認

【6】その他

山下理事：第40回学術大会において学術部から優秀な演題への表彰推薦者リストにおいて、表彰並びに表彰推薦規程では表彰出来ない5名の推薦者がいることが判明した。

表彰並びに表彰推薦規程

第2条 2 学術表彰

(3) 大会賞は、本会会員のうち本会学術大会において、研究内容が極めて優秀であり、かつ本会の進歩発展に多大に寄与し、さらなる活躍が期待される者に対し授与する。

2 受賞候補者は本会会員として5年以上の継続会員歴を有する者とする。

(5) 奨励賞は、本会会員のうち放射線技術学研究において顕著な成果を発表し、将来の発展が期待できるものに対し授与する。

2 受賞候補者は、本会会員として3年以上の継続会員歴をもち、募集締切日において、原則として満30歳未満の者とする。

規定により、非会員の学生2名及び継続会員歴を満たしていない3名が表彰出来ない。

圓谷副会長：規定変更をして新たに特別賞を設け5名を特別賞として表彰する事としたい。また、表彰並びに表彰推薦規程も古くなり現状に合わない状況でもあるので、今年度時間をかけ規定の見直しを行いたい。

現行	変更（案）
(2) 学術表彰は大会賞、論文賞、奨励賞とする。	(2) 学術表彰は大会賞、論文賞、奨励賞、 <u>特別賞</u> とする。
	(6) <u>特別賞は、上記表彰対象者以外に学術部が優秀演題に値すると判断した者に対し授与する。</u>
附則 1 この規程は、一般社団法人および一般財団法人に関する法律および公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める、公益法人の設立の登記の日から施行する。	2 <u>学術表彰(6)特別賞においては、2021年度第40回茨城県診療放射線技師学術大会から施行する。</u>

全員一致で承認

その他報告

村木常務理事：大学において教育が始まるのは、令和4年入学した学生となる。令和3年入学した学生は大学在学中に告示研修を行う事となるが、その研修を技師会が行うのか学校で行うのかまだ決まっていない。それ以前の学生に関しては、卒業後研修となり技師会で行う事となる。

次回5月11日（水）18：00より

令和4年度 第2回 理事会議事録

開催日時：令和4年5月11日(水)

18:00～18:30

場 所：Web(Zoom)会議

出 席：川又 誠，宮本 勝美，圓谷 明男，
村木 一夫，瀬谷 善恭，石森 佳幸，
奥村 英一郎，小澤 篤史，鈴木 達也，
鈴木 昭義，菌部 純一，沼尻 俊夫，
根本 宏之，野澤 哲也，長谷川 光昭，
水木 一弘，山下 ひろみ，山田 公治

欠 席：館野 誠，福谷 悌和，横田 浩(監事)，
守田 美和子(監事)

議 長：川又 誠

書 記：圓谷 明男

【定数確認】

事務局より、理事18名の出席が確認され、定款により本理事会が成立するとの報告があった。今会議の議長は川又会長、議事録作成人は圓谷副会長、議事録署名人は宮本副会長・村木常務理事・野澤理事とする。

【報告】

【1】会長報告

① 令和3年度 全国地域連絡協議会報告 令和4年1月22日(土)

- 告示研修修了者には、厚生労働省より修了書が送付される。
- 告示研修の窓口は木村専門官となり、JARTより医師派遣を依頼する事となる。
- 依頼手順
 - i) 日程、会場を2か月前までにJART事務局に申請する。備品に関しても1か月前まで。
 - ii) JART事務局がJRS事務局に講師派遣を依頼する。
 - iii) JRS事務局が講師派遣決定後、講師情報をJART事務局に伝える。
 - iv) JART事務局が都道府県担当者に連絡する。
看護師の依頼は、従来通り都道府県で依頼する。
受講者からの問い合わせは、開催責任者が行う。
- 6月17日(金)第84回定時総会をWebで行い、選挙は事前投票で行う。
- 入会案内パンフレットを配布した。
- 2024年秋に沖縄でJSRTとの合同学術大会を行う。
- 想定以上のアクセス数増加に伴い e-learning 不具合が起こっているが、根本的な対応は出来ていない。
- 9月16日～18日第38回日本診療放射線技師学術大会はハイブリッド開催する。神戸コンベンショ

ンセンターで開催する。参加登録は、4月1日～7月31日。

- 7月16日(土)14時より75周年記念式典経団連会館で開催する。
- 7月17日(日)全国会長会議を行う。
- 都道府県アンケートについて協力要請があった。茨城県への依頼数が30件であるが、H29年度業務実態調査20件、H30年度給与調査2件、H31年度業務実態調査7件、令和2年度診療報酬改定に向けた調査11件、令和2年度給与調査12件と満たない状態である。
- 現JARTの定款では、理事会承認後総会決議が必要であるため、4月～6月までの予算執行が出来ないため、理事会決議で行える様定款を改定する。
- 放射線技師会長と若手の懇談会を継続する。茨城県は終了している。

② 告示研修実施運営委員会報告 令和4年1月27日(木)

- 無断欠席の場合は原則として返金しない。
- 遅刻者はキャンセル扱いとし返金はしない。
- ファシリテータの増員は8月末日までに教材を準備し10月にスタートする。告示研修修了者であれば誰でもファシリテータになる事が出来る様になる。
- 配送業者は、ストックマルモで変更の場合は到着希望1週間前までに事務局に連絡する。

③ 茨城県診療放射線技師会報告

- 賛助会員であるドクターネットが今年度より退会する申し出があった。
- 1月26日公益法人監査があり問題なしで通知が来た。技師会費の会費規約の改定は届け出る必要があると指摘を受け、申請した。
- 基礎講習会、告示研修の中止後の広報が十分ではなかった。中止決定時点でホームページでの公表などの対策は必要であったと反省している。

④ 2月26日 JART 理事会報告 ○令和4年度事業計画

スローガン「タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう」

- i) 新たな業務拡大に伴う令和3年厚生労働省告示第273号研修(以下：告示研修)の実施
- ii) 医療放射線安全管理の推進
- iii) STAT 画像報告事業の推進
- iv) 性腺防護の国際動向を踏まえた対応検討
- v) 診療放射線技師国家試験のあり方提言
- vi) 診療報酬改定に向けた事業の展開
- vii) ラダーを取り入れた新しい生涯教育制度の展開
- viii) 第38回日本診療放射線技師学術大会の実施
- ix) 創立75周年記念事業の実施
- x) 事務局業務の効率化推進

- ・7月16日行われる創立75周年記念事業。茨城で告示研修と重なるので人選し出席する。
 - ・令和3年厚生労働省告示第273号研修について、各都道府県で開催し、年間合計300回の開催を目標とする。
 - ・中澤前会長名誉会員推薦、哇元省吾氏の顧問へ推薦された。
 - ・JART 定時総会（6月11日）Webにて行う。
 - ・本年度のWebサイト更新予算700万円程度計上
 - ・令和3年度原子力災害影響調査等事業（福島県内における住民の個人被ばく線量における不安解消、軽減に向けた調査・検討）委託業務
 - ・第37回日本診療放射線技師学会の概要報告参加登録2,032名（開場参加1,395名）
 - ・会計報告 例年がない黒字決算であった
- ⑤ 第69回関東支部研究発表大会県技師会の役割
- ・技師会から当日の実行委員を30～40人出してほしい(技術学会員でだぶるので県南の施設にお願いしたい)
 - ・技師会からのイベント
 - ・新しい生涯学習システムについて（ラダー制度）(実行委員企画「研修に行こう」2時間枠のなかで話していただくということで、合同企画となりそうである。時間は日曜日の午後、市民公開講座は中止。詳細は富田実行委員が案を練る。)

【2】その他

特になし

【議事】

【1】永年勤続40年表彰者について

山下理事：表彰並びに表彰推薦規定に伴い、永続勤続40年表彰者対象者3名について承認頂きたい。

全員一致で承認

【2】その他

山下理事：学術大会特別賞の副賞に関してご審議いただきたい。

鈴木達也理事：学術大会特別賞は、今回規約改定があったので来年以降に向け決定しておいた方が良いのではないかと。

野澤理事：今回は急遽決定したのでボールペンなどをもって副賞として、来年度に向け規程変更するので合わせて検討したい。今回の副賞は適切な商品を選んで渡す。来期に向け規程変更時に、賞金や副賞については検討する事とした。

全員一致で承認

次回 5月27日（金）20：00より

令和4年度 第3回 理事会議事録

開催日時：令和4年5月27日（金）

20：00～20：45

場所：茨城県総合福祉会館 4F 大研修室

出席：奥村 英一郎，奥山 寿恵，小澤 篤史，篠田 和哉，鈴木 昭義，砂森 秀昭，瀬谷 善恭，藪部 純一，高坂 倫江，田子谷 佳加，圓谷 明男，富田 哲也，中村 順一，沼尻 俊夫，根本 宏之，野澤 哲也，平野 雄二，福士 政広，宮本 勝美，山下 ひろみ，川又 誠（監事）

欠席：守田 美和子（監事）

議長：川又 誠

書記：鈴木 昭義

【定数確認】

事務局より、理事20名の出席が確認され、定款により本理事会が成立するとの報告があった。今会議の議長は川又 誠、議事録作成人は、鈴木 昭義、議事録署名人は宮本 勝美・野澤 哲也とする。

【報告】

【1】報告事項

宮本理事：新しく選任された理事の方は、必要書類を次回理事会までに提出をお願いする。詳細は事務局の鈴木氏まで連絡を。

【2】その他

・特になし

【議事】

【1】令和4年度役割分担について

川又監事：新しい会長に関して、立候補者がいなければ圓谷理事にお願いしたい。

全員一致で承認。

圓谷会長：副会長2名に宮本理事・野澤理事、常務理事2名に瀬谷理事・沼尻理事をお願いしたい。また今期より設立された顧問職に鈴木達也氏・長谷川光昭氏・横田浩氏にお願いしたい。

全員一致で承認。

圓谷会長：その他の役割分担については、次回理事会で報告する。

【2】関東甲信越診療放射線技師学会参加の 人選について

圓谷会長：2022年度関東甲信越診療放射線技師学会大会【6/25（土）・26（日）】への参加者として、圓谷会長・宮本副会長・野澤副会長・田子谷理事・川又監事にお願いしたい。

全員一致で承認。

【3】今後の活動方針について（漏洩線量測定器貸出事業案）

圓谷会長：漏洩線量測定確認事業廃止に伴い来年度に向け、線量計貸出を行って自施設の診療放射線技師が行える様な事が可能か、線量計の購入費用、故障時の保険、校正費用、見込み施設数、指導方法などについて検討して頂いたらどうか。もし事業化が

可能であると判断できれば予算化し来年度事業開始が出来る様にした。

放射線管理委員会に依頼する事とし、全員一致で承認した。

【4】その他

- ・各理事、監事は自メールアドレスを事務員の鈴木氏に伝える。

次回 6月15日(水) 18:00より

《 開催報告 》

令和4年度 定時総会開催報告

開催日時：令和4年5月27日(金)19:00～

場所：茨城県総合福祉会館

茨城県総合福祉会館大研修室にて令和4年度定時総会が開催されました。

審議に先立ち表彰式が行われました。

永年勤続40年表彰には、服部敬氏、高須春夫氏、谷貝一氏が表彰されました。

学術表彰では、大会賞に、町田直希氏、新嶋綾氏、田子谷佳加氏、越路真登氏、増田祐一氏が表彰されました。

特別賞には、須貝涼氏、鈴木友葵氏、黒木優花氏、鈴木南泉氏、弘田奏真氏が表彰されました。

また、日本診療放射線技師会創立75周年記念事業の際、厚生労働大臣 表彰に小原孝夫氏、日本診療放射線技師会定時総会では功労表彰に 中澤洋治氏、それぞれの表彰が決定したと報告がありました。

引き続き定時総会が開催されました。

資格確認により総会の成立が宣言され、議長に越路真登氏を選出して議事が進行されました。第一号議案の事業報告では、現状の会員動向に対する質問がありました。第二号議案の会計報告では、特に質問はありませんでした。第三号議案の会計監査報告では、横田監事より会計報告時に専用テンプレートを用いるよう指示がありました。第四号議案の役員選挙では、選挙管理委員会委員長塩谷浩之氏より、理事20名、監事2名の無投票当選が報告されました。第一から第四号の全ての議案が満場一致により原案通り可決されました。

報告事項では、川又会長及び執行部から令和4年度事業計画・予算について、瀬谷理事からは表彰や組織運営規程の一部変更と組織図の策定についてそれぞれ報告がありました。

最後に、新任理事と退任理事から挨拶があり、総会が終了しました。

退任される方々には、長年に渡る会へのご尽力に心から敬意を表します。茨城県診療放射線技師会の強さはチーム力だと思います。いつも仲間のこと、特に若者のことを第一に考えてくださいました。この姿勢を風化させることなく、次世代にも伝えたい

と考えます。

今後の更なるご活躍を祈念いたします。



(文責：沼尻俊夫)

第24回放射線安全講習会

日時：令和4年6月11日(土)

場所：on-line ミーティングシステム (zoom)

参加者：60名 (会員：26名、非会員：34名)

内容：第24回放射線安全講習会を前回同様 on-line にて開催した。講義内容は「放射線の基礎、小児・女性被ばく編」「一般撮影・ポータブル編」「CT編」

「IVR編」の4部構成であった。google formによるアンケート結果から参加者は20代から60代まで幅広い年齢層の看護師と診療放射線技師であり、他県からの参加もみられた。各講義の評価は「とても良い」「良い」といった回答がほぼ全数を占め、参加者の9割近くが講義内容の80%以上を理解できていた。

on-line開催に伴い、場所を選ばずにどこでも視聴可能なことから、対面講習会よりも気軽に参加できることがメリットの1つであると思われる。WebinarのQ&A機能を利用した質疑応答では、受講者から様々な質問が寄せられ、活発な討論を行うことができた。以上のことから本講習会は非常に有意義なものであったと考えられる。

放射線安全講習会は看護師をはじめとした、コメディカルスタッフ間における放射線知識の共通認識の構築が目的であり、今後も講義内容をアップデートしながら継続して行っていければと考えている。

(報告者：長谷川)

《お知らせ》

第145回茨城県RI研究会

日時：令和4年7月8日(金)19:00～21:00

場所：Zoom オンライン Web 開催

内容：茨城県内施設紹介

基礎講座 画像再構成の考え方

SPECT装置の装置間の違いについて

考える～骨シンチ編～

参加費：会員無料、非会員500円、学生無料

申込方法等、詳細は茨城県診療放射線技師会ホームページをご覧ください。

第136回茨城県超音波研究会 Webセミナー

日時：令和4年7月12日(火)18:30～20:30

場所：Zoom オンライン Web 開催

内容：苦手意識を克服しよう！消化管超音波検査

参加費：会員・非会員ともに無料

申込方法等、詳細は茨城県診療放射線技師会ホームページをご覧ください。

2022年度茨城県マンモグラフィ 精度管理技術講習会

日時：令和4年9月24日(土)8:50～18:00

令和4年9月25日(日)8:40～16:15

場所：茨城県立医療大学

受講者：40名(更新対象なし)

本講習会は、NPO 法人日本乳がん検診精度管理中

央機構(精中機構)・教育研修委員会認定プログラムに準じており、個人評価試験(読影、筆記)が行われます。詳細は、(公社)茨城診療放射線技師会または精中機構のホームページをご覧ください。

管理士部会 放射線測定器動作確認会

日時：令和4年11月6日(日)9:00～13:00

場所：茨城県立医療大学 実習棟2

1階 放射線管理学実験室

内容：電離箱式サーベイメータの取り扱い
実習と校正

茨城県立医療大学 佐藤 斉 先生

参加費：会員・非会員ともに無料

申込先：恵愛小林クリニック 黒澤 孝幸

TEL：029-263-0651

E-mail:kurosawa@katsujinkai.or.jp

申込締切：令和4年9月30日(金)

《会員動向》

1. 新入会員

井上 亜矢子

清水 初音 総合病院 土浦協同病院

下田 隆太郎 つくばメディカルセンター病院

長谷川 淳 常陸大宮済生会病院

安江 憲治 茨城県立医療大学

2. 再入会員

大曾根 敏彰 (独)国立病院機構災害医療センター

坂井 広伸 総合病院 土浦協同病院

会員数：693名(R4.6.14現在)

《訂正のお願い》

令和4年度 定時総会議案書、議事 第一号議案 令和3年度事業報告 9.編集部 1)インフォメーション発行において号数の表記(158号・159号・160号・161号)に誤りがありました。正しくは(157号・158号・159号・160号)となります。訂正しお詫び申し上げます。(編集部：小澤)

《編集後記》

コロナ禍になり、セミナーや講習会、各研究会、会議などがWEBで開催されるようになりましたが、ここ最近是对面での開催も少しずつ見られるようになりました。WEB開催にもメリットは多くありますが、対面形式でなければ得られないものもあると思います。今年度は告示研修の実技研修も開催されませんが、日々忙しい業務の中で大変なことも多いと思いますが、頑張っていきたいと思います。

(編集部：奥山)